

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生物多様性保全事業			部局	環境部	課・室	自然保護課	
				実施期間	S46 ~	E-mail	shizenhogo @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

「過剰な捕獲・採取」「里山や草原の管理の衰退」「外来種の移入・分布拡大」「気候変動の影響」などにより、野生動植物の生息環境が悪化している。

このため、生物多様性を【知り】、人と人を【繋ぎ】、生き物を皆で【守る】、を多くの主体との協働により、希少種をはじめとする多様な種を安定的に存続する必要がある。

### 2 事業目的

生物多様性や生態系が暮らし・社会・経済の基盤であることを県民が学び、人と人とのつながりのなかで、あらゆる主体が自然環境に配慮して行動する、「人と自然が共生する信州」の実現を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①多様な主体との協働による生物多様性の保全**
- ・いきものを保全する活動団体を技術・資金・人材面の支援により社会全体で支えるパートナーシップ協定を締結。協定締結を拡充するため、企業、保全団体が一堂に会するマッチング会を開催
  - ・県民全体が生物多様性保全への機運を醸成するため、知って、学んで、楽しむ、親子フィールド学習会を開催
- ②希少野生動植物の保護対策の推進**
- ・絶滅のおそれのある野生動植物について、県民・事業者等へ理解を広める基礎的な指標「レッドリスト」の改訂作業を実施
  - ・希少野生動植物保護条例に基づき、保護活動の指針となる保護回復事業計画を策定するとともに、概ね5年を経過した計画の評価検証を実施
  - ・ライチョウ保護スクラムプロジェクトとして、クラウドファンディングを活用しながら、生息状況の調査や中央アルプスの個体群の復活に向けた二ホンザルの追い払い等を実施
- ③地域が取り組む外来生物対策を支援**
- ・地域の対策が連携・協働して実施されるよう、市町村、地域振興局向けの外来種対策講習会を実施
  - ・県内に生息範囲を拡大しつつあるアライグマの状況を把握し対策に反映するため、定着段階の変化をモニタリング

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	親子フィールド学習会参加者数	人	28	50	↗	46	↘	50	未達成	学習会を行う場所のキャパシティを踏まえつつ、前年度の実績を基に設定	
②	保護回復事業計画策定及び検証数	種	29	30	↗	31	↗	32	未達成	2027年度目標38種を達成するため、R5に1種、R6以降2種のペースで実施	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	生物多様性保全パートナーシップ協定締結数(累計)	件	2022 (R4)	19	2023 (R5)	27	2024 (R6)	28	2027 (R9)	34

### 6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	41,872	△ 120	41,752	24,900	33,846	7.3
R5年度	0	30,035	△ 860	29,175	24,961	23,774	7.3
R4年度	0	26,575	△ 2,446	24,129	9,405	19,578	7.3

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課		

## 7 主な取組実績と成果

### ①多様な主体との協働による生物多様性の保全

・人的・資金的支援が必要な保全団体と支援を希望する企業などの連携を県が仲介し、多様な主体による生物多様性保全活動を推進(生物多様性保全パートナーシップ協定制度)

新規1件の協定締結【協定制度開始後累計（H27～R6年度）：28協定】

・生物多様性保全パートナーシップ協定の締結促進を図るため、企業に向けて保護団体の活動を紹介するマッチング会を開催  
マッチング会の開催【1回開催 協定検討2件】

・将来の保護活動の担い手となり得る小学生を対象に、保護者同伴の体験型自然学習会を実施  
生物多様性保全普及啓発学習会（親子フィールド学習会）の開催【2回開催】

### ②希少野生動植物の保護対策の推進

・県内の絶滅のおそれのある野生動植物をまとめた「長野県版レッドリスト」の改訂作業の推進

・希少野生動植物保護条例に基づく、保護活動の指針となる保護回復事業計画の策定と評価検証を実施し、生物多様性と種の保護対策の推進

保護回復事業計画策定手続き対象種：アカモズ（鳥類）R6条例指定 評価検証対象種：イヌワシ

・ライチョウ保護活動へのふるさと信州寄付金（ガチなが・クラウドファンディング型）を募集

募集期間：R5.11.30～R6.8.31 寄付金額：約1,670万円

・北アルプス南部（常念岳周辺）におけるライチョウの生息数等の調査の実施

生息状況：R6調査結果192羽（推定生息数）

・ライチョウの保護増殖を行っている中央アルプスにおいて、サルを追払いを環境省と共同で実施

追い払い実施期間：R6.8.5～8.30（うち21日） 実施期間中サル出現頻度：R4 17日→R5 15日→R6 6日

### ③地域が取り組む外来生物対策を支援

・外来種の駆除活動を地域において主導的な立場で進める市町村担当者、指導者、地域リーダー向けの講習会を現地実習、WEB研修の2パターンで開催

内容：効果的な駆除方法や他地域の対応事例の紹介、対策技術の講習等

R6実績：21市町村、9地域振興局が参加

・県内で捕獲されたアライグマの解剖分析調査、捕獲・目撃数、被害などの情報収集、市町村に対してのフィードバック（調査結果報告と防除対策の取組み提案）

R6実績：解剖分析14匹

アライグマ定着状況が進行し特に注意が必要な6市町村に対しては対面で、その他市町村に対しては書面でフィードバックを実施

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	親子フィールド学習会参加者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
<p>・学習会申込者は目標値を上回ったものの、当日キャンセルなどが発生したことから、目標値の参加者数50人には届かなかった。</p>							
指標②	保護回復事業計画策定及び検証数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>保護回復事業計画：計画策定後概ね5年ごとに、順次、評価検証を実施。（内、計画策定：15、評価検証16） R6年度：評価検証（1種 イヌワシ）（R5年度：1種 ヤシャイノデ） 令和6年度中の策定を目指していたアカモズの保護回復事業計画策定について、計画策定の前提となる希少種指定に係る調査に不測の期間を要したため、計画策定が令和7年度に延期となり目標値に届かなかった。</p>							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・生物多様性保全パートナーシップ協定件数は増加しているものの、資金面、人材面で課題を抱える保全団体が依然多くある。

・希少種の保護対策を効果的に講じるためには、生息状況等の情報を長期的かつ継続的に把握・整理するとともに、効果的な保護対策を検証・実施していく必要がある。

・特定外来生物の防除は、地域主体による防除活動が支えとなっているが、高齢化などにより主導的な立場となる担い手不足が生じている。

・県民全体の生物多様性の主流化の機運醸成には、今後も様々なアプローチが必要となる。

### (2) 事業改善の方策

生物多様性の主流化、自分事化の機運を醸成するために、以下の事業を実施していく。

・生物多様性保全パートナーシップ協定制度の広報、企業-団体のマッチング

・生物多様性保全ポータルサイトなどにより、生物多様性の理念、県や様々な主体の取組紹介、関係イベントなどの情報を発信

・「長野県版レッドリスト」の改訂

・長野県外来種対策ハンドブックや解説動画等を活用した普及啓発

・生物多様性に資する指導者育成研修会、親子学習会などの開催

事業番号	06 05 01	<b>細事業一覧（令和6年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>生物多様性保全事業</b>		部局	環境部	課・室	自然保護課

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>1</b>	<b>生物多様性保全体制構築事業</b>	512 千円	850 千円	2,267 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	生物多様性保全パートナーシップ協定の締結	直接委託	いきものを保全する活動団体を、技術・資金・人材面の支援で社会全体で支える協定を締結。令和6年度は協定拡充のためマッチング会を開催。 マッチング会の開催：1回	
2	外来種駆除イベントの実施	直接	保全団体との協働により県民参加型の外来種駆除などの保護活動を実施。 外来種駆除イベントの開催：1回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>2</b>	<b>ホットスポット保全対策事業</b>	846 千円	5,945 千円	671 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	保全活動支援事業	補助金	パートナーシップ協定に基づく寄付金をもとに、市民団体や企業等が連携・協働して実施する個別の保護増殖や生物多様性の保全活動に対して補助金を交付。 補助金交付団体：5者	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>3</b>	<b>生物多様性ながの魅力発信プロジェクト</b>	6,012 千円	2,498 千円	2,245 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	親子フィールド学習事業	委託	自然保護センター周辺において、将来の保護活動の担い手となり得る小学生を対象に、保護者同伴の体験型自然学習会を実施。 親子フィールド学習：2回開催	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>4</b>	<b>レッドリスト改訂事業</b>	— 千円	2,652 千円	11,531 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	レッドリスト改訂検討会議の運営	委託	県民・事業者等へ希少種保護への理解を広める基礎的な指標として、絶滅のおそれのある野生動植物をまとめた「長野県版レッドリスト」を改訂するため、有識者と共に内容を検討。 R8改訂を目指し、改訂会議(1回)・専門会議(3回)を開催 希少種に関する現地調査・文献調査	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	希少野生動植物保護対策事業	87 千円	28 千円	79 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	希少種の指定・保護回復事業計画の策定	直接	希少野生動植物保護条例に基づき、保護活動の指針となる保護回復事業計画の策定。また、策定されている計画に基づく保護活動の状況を評価し、計画の妥当性を検証する。 保護回復事業計画の策定手続き：1種（アカモズ） 計画の評価検証：1種（イヌワシ）	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	ライチョウ保護スクラムプロジェクト	8,229 千円	5,555 千円	11,694 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ライチョウ生息状況等調査	委託	近年、調査が行われておらずライチョウの生息状況が把握されていない山域において、生息数・捕食者調査を実施し、ライチョウの生息状況に関する調査を実施。 実施場所：北アルプス南部（常念岳周辺）6月～9月	
2	ニホンザル対策事業	委託	ライチョウの復活に取り組んでいる中央アルプスにおいて、ライチョウへの危害が懸念されるニホンザルの追払いを実施 実施時期：8月	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	外来生物戦略構築事業	3,271 千円	3,555 千円	3,456 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	外来生物対策普及事業	委託	人体への健康被害防止、農林水産業被害や生態系被害の軽減のため、外来種対策の啓発、適切な駆除方法、活動の継続的実施を普及する 外来種対策講習会の実施：1回（実習、WEB） 参加対象：市町村、地域振興局	
2	外来生物防除対策事業	委託	県内に侵入や定着が拡大している外来哺乳類（アライグマ等）の目撃情報の把握や、捕獲個体の解剖分析により、各地域における定着段階をモニタリングし、防除・環境整備対策を促進する。 分布拡大状況把握調査：1回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
8	自然探勝会事業	319 千円	451 千円	600 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自然探勝会の開催	委託	障がいのある方への自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催 イベント開催回数：2箇所	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
9	県自然環境保全地域等標識板設置事業	303 千円	2,239 千円	1,303 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	標識板の更新	直接	自然環境保全地域、郷土環境保全地域の指定理由や区域、特色を広く県民に紹介するための案内標識板等を改修 標識板の改修：3基	